

1. 事業構想評価

(1) 事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況												備考			
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目				5年目		
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		目標値	実績値	達成率
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/m <sup>3</sup> )の減少率																		
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(m <sup>3</sup> /人・日)の増加率	H30		11	15	136%	12	21	175%	13	12	92%	14	21	150%				
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	地域材利用量(m <sup>3</sup> )の増加率	H30		1	-	-	3	-	-	6	-	-	8	-	-		対象事業の地域材利用量の現状値が0m <sup>3</sup> であり、これをもとに伸び率を算定すると異常値となるため、評価対象外とした。		
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(m <sup>3</sup> /百万円)	H30	2	2.24	112%	2	2.24	112%	2	2.24	112%	2	2.24	112%				
		木造化(補助率15%以内)		H30	4	9	225%	4	8.08	202%	4	8.08	202%	4	8.08	202%				
		木質化		R1	1	2.93	293%	1	2.93	293%	1	2.93	293%							
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量(m <sup>3</sup> /百万円)																	
		木質バイオマス供給施設整備		H30	20	314	1570%	20	419	2095%	20	419	2095%	20	419	2095%				
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		H30		2	8.39	420%	2	11.19	560%	2	11.19	560%	2	11.19	560%					

(注)

- 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。  
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2 . 全体評価

(1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進												
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
マーケティング力ある林業担い手の育成												
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	139	千m <sup>3</sup>	R3	155	千m <sup>3</sup>	R4	159	103%	R4	愛知県林産物 生産流通動態 調査 2022年次 改善措置実施 状況報告 R5.4～R5.10
		素材生産性(目標値)	5	m <sup>3</sup> /人・日		5.5	m <sup>3</sup> /人・日		5.3	96%		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
マーケティング力ある林業担い手の育成		
林業経営体の育成	機械の導入により素材生産量では103%の達成率、素材生産性では96%の達成率となり目標を概ね達成することができた。	高性能林業機械を扱う職員の技術向上が必要であるため、今後研修受講等により育成を進める。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

- (注)
- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
  - 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
  - 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
  - 4 行については、適宜加除すること。

別様

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度 及び目標年度	低調となった要因	目標達成に向けた取組
23,653人	公共建築物 等の整備	木造公共施 設整備	東栄町	①公共施設 ②木造公共 施設	設置年度： H30 目標年度：R5	新型コロナウイルス感染症の影響による休 園及び来園者を制限したため	新型コロナウイルス感染症の状況を見なが ら規制等を緩和する 【令和5年度における取組等】 ①各種行事における来園者制限解除(園児 1名につき保護者1名を無制限) ②臨時休園が減少する見込み(新型コロナ ウイルス感染症5類移行に伴い) ③令和6年度入園希望聴取において微増 若しくは横ばいの見込み